

—首都圏を襲う地震に対して 生命と社会・産業をいかに護るか—

◇主 旨

東京湾臨海部には、わが国の主要な産業施設や火力発電所等重要なインフラ施設が集中している。これらの施設が、逼迫する東京湾北部等の首都直下地震及び南海トラフ等の巨大地震によって被害を受けた場合、住民や産業等の従業員の生命、首都圏の経済・産業並びに国際社会にも甚大な影響を及ぼす。

そのため、東京湾の地震・津波に対する安全性の向上は喫緊の課題であり、土木・建築・都市分野のみならず、化学、機械、経済、行政等の幅広い分野の専門家と国、自治体、企業等関連機関が連携して取り組むことが不可欠である。

本シンポジウムは、これら専門家や各機関等の関係者が自由な立場で意見交換を行い、東京湾の地震防災性向上への取り組みに資することを目的として開催するものである。

日 時 : 2012年11月21日(水) 13時30分～17時(受付開始 13時より)

会 場 : 早稲田大学国際会議場 3階 第一会議室

主 催 : 早稲田大学理工学研究所

後 援 : (一社)日本建築学会、(公社)土木学会、(公社)日本都市計画学会、
(公財)セコム科学技術振興財団、(一社)都市環境エネルギー協会

定 員 : 100名(定員になり次第締切ります)

参加費 : 無 料

◇プログラム

13:00	受付開始		
13:30	開会挨拶	濱田 政則	早稲田大学 教授
13:35	来賓挨拶	馬淵 澄夫	衆議院議員 元国土交通大臣
13:40	基調講演	座間 信作	消防研究センター基盤研究部 部長
14:10	基調講演	鈴木 浩平	元首都大学東京 工学部長
14:40	基調講演	濱田 政則	前 出
15:10	(休憩10分)		
15:20	パネルディスカッション	丸山 隆英	国土交通省 海岸・防災課長
		渡辺 健	経済産業省資源エネルギー庁 石油精製備蓄課長
		江澤 昌夫	千葉県防災危機管理部 副主幹
		坂井 藤一	FS技術事務所 代表
		田辺 修	東京ガス(株) 生産エンジニアリング部長
		尾島 俊雄	早稲田大学名誉教授、元早稲田大学 理工学部長
		基調講演者	
17:00	閉会挨拶	杉井 清昌	セコム科学技術振興財団 理事長代行

◇会場案内図

「早稲田大学国際会議場」3階 第一会議室



- 住 所：東京都新宿区西早稲田1-20-14
 アクセス：・JR山手線／西武新宿線：高田馬場駅より徒歩20分
 ・地下鉄東西線：早稲田駅より徒歩10分
 ・都バス：高田馬場駅～西早稲田 徒歩3分
 ・都電荒川線：三ノ輪駅～早稲田 徒歩5分

◇お申し込み方法

EメールまたはFAXにてお申し込み下さい。

- Eメールの場合：下記の必要事項を明記し、secretariat@npo-aiue.org 宛にお送り下さい。
 ①件名：「11月21日東京湾シンポジウム申し込み」
 ②お名前・ご所属・部署名
 ③連絡先 (TEL、FAX)

○FAXの場合：下記の送信票にご記入いただき、お送り下さい。

◇お問合せ

NPOアジア都市環境学会
 〒104-0061 東京都中央区銀座8-5-4 マジソンビル4F (担当：小林・大橋)
 TEL:03-3571-1836 FAX:03-3571-1848
 E-mail: secretariat@npo-aiue.org

F A X 送 信 票

NPO アジア都市環境学会 行
 (FAX: 03-3571-1848)

	お 名 前	ご所属・部署名
1		TEL - - FAX - -
2		TEL - - FAX - -

注) 受講券の発行はございません。当日は直接、会場にお越し下さい。